CeeU Yokohama

横浜ヴェールスクエアCeeU 12月15日 グランドオープン

横浜市西区の横浜駅西口地区で開発が進められていた商業・住宅の複合施設「CeeU Yokohama」の商業ゾーン「横浜ヴェールスクエアCeeU」がきょう15日、グランドオープンを迎える。同事業は権田金属工業が商業施設、都市再生機構が賃貸住宅を建築する共同事業。「横浜ヴェールスクエアCeeU」はイオンモールが賃借し、運営する。設計、施工はともに大林組が担当。住宅は2025年春の竣工を予定している。

新しいライフスタイルを創造、発信

横浜西口エリアのにぎわい創出拠点へ

人・まち・景観の「つながり」を生む建築

地域全体の発展に貢献

独立行政法人都市再生機構
東日本賃貸住宅本部
ストック事業推進部長　関本　恒久

このたびは、「横浜ヴェールスクエアCeeU」建物竣工ならびに商業施設「CeeU Yokohama」の開業、心よりお祝い申し上げます。

権田金属工業様とは、権田第１ビル・南幸市街地住宅（1969年完成）の建設以来のお付き合いであり、築40年を迎えた2009年から、権田第２ビルを含めた共同建替事業として計画をスタートいたしました。

事業の実施にあたり、幾多の困難もございましたが、故権田源太郎前社長をはじめ、権田金属工業様との長い年月をかけて築いた信頼関係があったからこそ、当プロジェクトが実現いたしました。

また、現場の施工にあたり、さまざまな制約のある条件のもと、大林組様、工事関係の皆さまの多大なご尽力を賜り、商業施設の竣工を迎えられましたこと、御礼申し上げます。

2025年春ごろには、ＵＲ都市機構の賃貸住宅も竣工いたします。横浜駅西口エリアに新たなにぎわいと住まいをこの地に提供し、より一層、地域のみなさまとご一緒に地域全体の発展に寄与してまいりたいと考えております。

横浜の豊かなヴェールの１枚に

権田金属工業株式会社
代表取締役社長　権田　有紀子

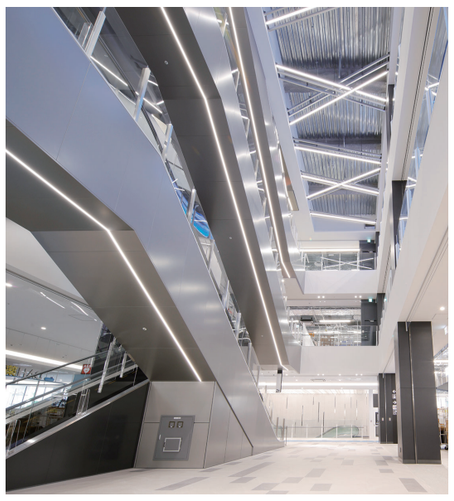
横浜ヴェールスクエアCeeUが無事竣工いたしました。建設にご協力くださいましたＵＲ都市機構様、イオンモール株式会社様、株式会社大林組様、そして近隣の皆さまに心より感謝申し上げます。

当社と横浜の縁は、1918年に伸銅品工場を開いたことから始まります。その後関東大震災、大戦により３度の大きな被害を受けましたが、多くの方に支えられ、事業を継続することが出来ました。現在では社屋は相模原市に移転しておりますが、横浜の地、そして近隣の皆さまにいただいたご恩と感謝は今でも忘れることがありません。

本建物の「横浜ヴェールスクエアCeeU」という名称は、ＵＲ都市機構様、イオンモール株式会社様と協議のうえで名付けたものです。「横浜ヴェール」は観光地、商業地区、住宅地などさまざまな特色がヴェールのように重なりあった横浜の魅力を表しています。「CeeU」は当社の本業である伸銅業の銅（ＣＵ）とSee youを掛け合わせ、また来たくなる場所になるようにという思いが込められています。

当施設が横浜の豊かなヴェールの１枚となり、生活インフラに欠かせない銅のように、皆さまの生活を支えられるよう努めてまいります。

メインエントランス


中央吹き抜け

北側外観

南側外観

施工のポイント　多くの制約乗り越え高難度の工事を推進

敷地は横浜駅西口エリアの繁華街の一角で、南側は人通りの絶えないパルナード通りに面しています。工事区画は、５棟のテナントビルと１棟のビジネスホテルにも隣接し、事故防止策に加え騒音・振動・ほこり・臭い対策も必要で、緊張感の欠かせない現場です。

工事は2020年５月に既存建物の解体から始まり、2021年７月、住宅棟に先駆け商業棟の新築工事に着手しました。メインゲートは、北側の大通り（横浜市道高島台197号線）側に限定され、鉄骨や運搬車両の大きさに応じてゲートの間口、動線などを検証したうえで、搬入する必要がありました。

躯体は基本的にゲートから一番奥の南・西側から北・東側に向かって構築していくのですが、敷地内には資材を仮置きできる十分なヤードがないため、近隣の方々のご了解のもと、午前中は東側の一方通行の道路、午後はパルナード通りの使用許可を所轄警察署から認めていただき工事を進めました。

道路使用にご理解いただけたのは、近隣の皆さまも新しい商業施設の開業を待ち望んでいるとともに、私たち現場関係者が毎朝、敷地周辺を清掃するなど街の美化に取り組んでいる様子に、ご厚意を持たれたおかげだと思います。施工条件的にさまざまな制約があり、苦労が絶えない現場でしたが、商業施設を期日通り完成させることができました。

一方、2025年３月下旬の引き渡しを目指し、賃貸住宅を施工中です。引き続き、第三者災害の防止、近隣配慮を徹底し、無事故、無災害での工事に注力してまいります。

株式会社大林組　所長　佐藤　圭

東側低層部

工事概要

- ■工事名称：（仮称）横浜南幸地区共同建替事業
- ■工事場所：横浜市西区南幸二丁目16－１他
- ■建築主：権田金属工業株式会社、独立行政法人都市再生機構東日本賃貸住宅本部
- ■商業事業者：イオンモール株式会社
- ■敷地面積：約7,000㎡
- ■建築面積：（商業）約4,300㎡、（住宅）約1,000㎡
- ■延床面積：（商業）：約35,000㎡、住宅棟：約20,000㎡
- ■構造：（商業）Ｓ一部ＲＣ造、（住宅）ＲＣ造
- ■階数：（商業）地下１階地上10階、（住宅）地下１階地上22階
- ■設計：株式会社大林組一級建築士事務所
- ■施工：株式会社大林組横浜支店
- ■工期：2021年７月30日～2023年10月20日（住宅／～2025年春）

※撮影＝ナカサアンドパートナーズ／中道　淳

イオンモール株式会社

エリア開発統括部 首都圏開発部
部長　河野　克也

本事業は、2019年２月に閉店した「ダイエー横浜西口店」の跡地における商業施設とＵＲ賃貸住宅の複合開発事業であり、当社は、権田金属工業様より商業施設を賃貸借し、本日12月15日に「CeeU Yokohama」をグランドオープンさせていただきました。

「CeeU Yokohama」と横浜ビブレの連携、さらに、ＵＲ賃貸住宅「横浜ヴェールタワー」が融合することで、３者が三位一体となり横浜西口エリアの、これからのライフスタイルを創造し、発信する複合都市実現の一助になり、持続的な『まち育て』の視点を持って関係者共創で運営していきたいと思っております。

今回、「CeeU Yokohama」の施設計画段階において「地域との調和と共創」を念頭に建物設置者である権田金属工業様、ＵＲ都市機構様、当社で検討を進め、その一つの取り組みとして「歩きやすく、ゆとりある歩行者空間の創出」に向け、横浜ビブレ側とパルナード通り側の外壁ラインをセットバックし、公開空地を配置しました。さらに、メインエントランス前にはピロティ形状の広場を設けることで、隣接する横浜ビブレと一体で、一般社団法人横浜西口エリアマネジメントなどのイベントが開催できる空間を創出しました。

また、メインエントランス前の公開空地を地域のシンボル、にぎわいの中心として、愛着を持っていただけるよう広場名称を県立横浜平沼高等学校の生徒にネーミングを募集し、命名させていただきました。

引き続き、一般社団法人横浜西口エリアマネジメントおよび行政、学校、地域の皆さまとの共創を通じて、当施設が平時は地域のにぎわいの拠点、有事は防災拠点となり、お客さまの「安全・安心」のその先にある多様なニーズに応える価値を提案していき、「CeeU Yokohama」が横浜西口エリアにおいて、欠かせない施設となるよう、目指して参りますので、末永くご愛顧のほどお願い申し上げます。

設計コンセプト

計画地は、大型商業・エンターテインメントゾーン、小規模商業・界隈ゾーン、都市型住宅混在ゾーンからなる横浜駅西口南幸地区のほぼ中央に位置しています。この多様性を結びつける建築として、「人・まち・景観を『つなぐ』」をコンセプトに設計しました。

歩行者天国となるパルナード通りに接した南側は、ゆとりある歩行者空間を創出するための公開空地を設け、それに面して低層部をガラスファサードとすることで、店舗内のにぎわいが通りにあふれ、逆に多くの人が行き交う通りの雰囲気を中に引き込める計画としました。また、西側の住宅棟低層部からの通り抜けや、北側大通りからもアクセス可能な計画とし、周辺のまちとのつながりを生み出します。

外観デザインについては、「GATHER BLOCKS」というコンセプトを掲げ、商業施設と賃貸住宅との一体感を意識した金属列柱と木目調ルーバー・パネルをあしらった共通の基壇部の上に外装材やパターンを使い分けたブロックを積み重ねていくことで、単調さと圧迫感の低減を図ります。メインエントランスには、３層吹き抜けの広場空間の上に金属パネルのブロックを浮かせるように配置し、建物の「顔」として来街者を受け入れます。

難しい敷地制約に加え、商業施設と賃貸住宅という異なる建物を一体として計画する中でも、事業者間および設計者・施工者との「つながり」を意識し、チーム一丸となってプロジェクトを進められたと考えています。

段階的オープンとなりますが、この建物が南幸地区のさらなるにぎわい、活気の創出に寄与することを期待しています。

株式会社大林組
設計本部　建築設計部　副課長　佐竹　翼

‖ 設計・施工 ‖　OBAYASHI　株式会社 大林組　東京都港区港南 2-15-2　電話 03-5769-1111

‖ 電気設備工事 ‖
Kinden きんでん 横浜支社
横浜市西区みなとみらい 2-3-5　電 話 045-640-6315

‖ 空調・衛生・消火設備工事 ‖
菱機・エルゴテック特定建設工事共同企業体
RYOKI 菱機工業株式會社　東京本社　東京都豊島区西池袋 5-1-3　電話 03-3590-5000
エルゴテック株式会社　横浜市西区みなとみらい 3-6-3　電話 045-683-1570

■ 鉄筋工事
株式会社 アイコー
東京都中央区日本橋小伝馬町 15-18　電話 03-6661-1503

■ 計測工
計測技研株式会社
東京都港区浜松町 2-9-3　電話 03-5408-1915

■ 組積工事（ALC･ECP）
ケーオーディー株式会社
東京都台東区東上野 2-1-11　電話 03-5830-0022

■ 型枠工事
株式会社 国分工務店
東京都八王子市戸吹町 217-1　電話 042-691-0079

■ トイレブース工事
コマニー株式会社　特販営業部
東京都千代田区西神田 3-8-1　電話 03-6261-1070

■ 外装アルミパネル工事
株式会社 小山金属
埼玉県川口市栄町 3-10-3　電話 048-290-8863

■ シャッター工事、鋼製建具工事、防水板工事
三和シヤッター工業株式会社　首都圏ビル建材横浜支店
横浜市港北区新横浜 2-5-5 4F　電話 045-478-0038

■ 鍛冶工事・金属工事
株式会社 塩浜工業
東京都文京区後楽 1-5-3　電話 03-6747-6028

■ 警備
ジャパンパトロール警備保障株式会社
東京都品川区西五反田 1-27-4　電話 03-6417-3424

■ 工事用電気設備工事
株式会社 新光電舎
東京都江東区東陽 2-4-14　電話 03-3649-4781

■ 山留壁工事（SMW）
成幸利根株式会社
東京都中央区日本橋堀留町 1-2-10　電話 03-5645-3236

■ ハイベース工事、ハイリング納品
センクシア株式会社
東京都港区東新橋 2-3-17　電話 03-4214-1932

■ 養生クリーニング工事
株式会社 大千
横浜市都筑区東方町 371　電話 045-472-9898

■ アンカー工事
中央総業株式会社
相模原市南区相模大野 3-20-1　電話 042-765-6611

■ 杭工事
東洋テクノ株式会社
東京都渋谷区広尾 5-4-12　電話 03-3444-2144

■ 左官工事
株式会社 斗米工業
東京都小平市花小金井南町 2-9-29　電話 042-462-3325

■ プレキャスト工事
トヨタT&S建設株式会社
愛知県豊田市亀首町上向イ田 65　電話 0565-45-7811

■ 鍛冶工事
株式会社 永井建設
横浜市鶴見区駒岡 5-5-41　電話 045-583-8601

■ 測量・墨出し
株式会社 中村技建
東京都多摩市南野 3-13-2　電話 042-337-5200

■ 解体工事・地中障害物撤去工事・地盤改良工事・止水注入工事
日本基礎技術株式会社　首都圏支店
東京都渋谷区幡ヶ谷 1-1-12　電話 03-5365-2900

■ 外構工事
日本道路株式会社　東京支店
東京都大田区蒲田 5-37-1　電話 03-4212-3373

■ 塗装工事
平岩塗装株式会社
東京都大田区千鳥 2-9-3　電話 03-3759-9198

■ 鳶土工事
株式会社 松村組
東京都品川区西五反田 2-4-2　電話 03-3494-1341

■ 土工事
マルタ工業株式会社
横浜市港北区樽町 4-14-34　電話 045-542-7001

■ 型枠工事
明誠建設株式会社
横浜市南区大岡 4-9-1　電話 045-713-1111

■ 鉄筋工事
株式会社 ヤマガタ鉄筋工業
東京都八王子市久保山町 1-35-4　電話 042-659-3286

■ 鉄骨工事
株式会社 好井鐵工所
茨城県筑西市辻西原 2121　電話 0296-37-6631

■ 金属工事
吉田工業株式会社
東京都足立区綾瀬 7-4-2　電話 03-6802-6011

■ 不燃シート製防煙垂壁工事
株式会社 ライフアートプランテック
奈良県奈良市学園大和町 2-197-1　電話 0742-48-1113

【 五十音順 】